

農業

令和8年10月号
会誌 No. 1748



目次

巻頭言

「大人の食育」が切り拓く、食料安全保障と地域の未来……………上岡 美保 3

論 壇

世界の農業ロボティクスの潮流と十勝 AI 農業特区への期待
……………野口 伸 4

農業懇話会

地域の農地を守る新たな選択肢「地域まるっと中間管理方式」
……………可知祐一郎 6

寄 稿

物価変動を加味した野菜の需給動向の「見える化」……………榎 晋介 22
—市場統計情報からひも解く野菜の需給ギャップ—

研究の最前線

代替タンパク質は日本で受け入れられるのか
……………若松 宏樹・丸山 優樹・山本 祥平 33
—選択実験から見える日本人の食の未来—

世界の農業は今

キリバス共和国の食と水……………小野 洋 40
—「沈む島」の向こう側—

農政の話題

フードテックの成長戦略
—日本成長戦略と官民投資ロードマップの策定を受けて—
……………阿部 尚人 47

私の経営と志

大崎平野で稲作を軸に規模拡大……………佐々木崇行 54
—農業のピンチをチャンスに変え、楽しみながら挑戦する—

統計情報

2025（令和7）年度食料自給率…………… 56
農政情報…………… 58
大日本農会だより…………… 59
編集部から…………… 60

表紙写真説明：シリーズ農村の伝統祭事

表 児の米

（福井県 坂井市）

坂井市丸岡町の南端に位置する北横地地区に、十郷用水にゆかりが深い布久漏神社があります。この神社は、平安時代に編纂された延喜式神名帳にその名が記載されている由緒ある神社で、毎年9月の秋祭りに、「表児の米」の神事が盛大に執り行われています。

この神事は、五穀豊穰に感謝し、その年の初穂米をきねでつき、蒸して、神社に供える祭りで、福井県の無形民俗文化財に指定されています。

十郷用水の恩恵を受ける流域の農民たちが、治水に尽力した継体天皇の第19番目の子、円媛命の遺徳をしのび、感謝の気持ちを表して行ったのが始まりとされています。

若い衆がそろいの白シャツと禪姿となり、神社でおはらいを受けて身を清め、「おたしより」「米かち」（表紙写真）「盤持ち」「筵たたき」「米かしき」「もちまき」など、一連の技を繰り広げます。

江戸時代には今の神事の実形ができていたようで、北横地地区の氏子により、伝統芸能として今に守り伝えられています。

（写真：表児の米保存会 文：同保存会会長 田中 文夫）